

# 児童生徒質問紙調査の結果と考察

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」、「している」「どちらかといえばしている」等の合計。

※数値は上段が所沢市、下段( )内は全国の数値を記入。

※全国平均を上回っている項目は、数値(%)を網掛け表示。

※考察は、太字で記載。

質問項目	小学6年生	中学3年生
<b>1 学校生活, 自尊感情, 将来への夢に関する項目</b>		
・自分には, よいところがあると思いますか	<b>86.5%</b> (83.5%)	<b>80.6%</b> (80.0%)
・将来の夢や目標を持っていますか	<b>82.6%</b> (81.5%)	65.6% (66.3%)
・学校に行くのは楽しいと思いますか	<b>85.5%</b> (85.3%)	80.1% (81.8%)
・先生は, あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	<b>90.5%</b> (89.8%)	<b>88.9%</b> (87.3%)
・友達関係に満足していますか	<b>90.3%</b> (90.3%)	87.4% (88.7%)
・普段の生活の中で, 幸せな気持ちになることはどれくらいありますか (「よくある」「ときどきある」と回答した割合)	90.9% (91.0%)	86.3% (86.8)

・全国平均よりも高い項目が多く, 学校の教育活動全体を通して自己肯定感の醸成を図っており, 自他を認め合える楽しく充実した学校生活を送っている児童が多いと考えられる。

・中学3年生は, おおむね8割を超えているが, 「将来の夢や目標を持っていますか」の項目は, 低い傾向にあるため, 進路指導をはじめとしたキャリア教育の充実を図り, 将来への展望性を高めていく必要がある。

2 人としての考え方に関する項目	小学6年生	中学3年生
・人が困っているときは, 進んで助けていますか	<b>91.8%</b> (91.6%)	<b>88.8%</b> (88.1%)
・いじめは, どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.0% (96.9%)	<b>95.9%</b> (95.5%)
・人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.8% (95.9%)	93.8% (94.6%)
・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	75.5% (76.5%)	76.3% (77.6%)

・「人としての考え方に関する項目」は, 小・中学校ともに全国平均より低い項目があるが, 概ね9割を超える高い水準である。

・「自分と違う意見について考えるのが楽しいと思う」割合が小・中学校ともに低いため, 学級活動や道徳科の授業を要とした学校の教育活動全体を通して, 人としての考え方について多様な他者との対話を充実させることが必要である。

3 家庭学習, 読書に関する項目	小学6年生	中学3年生
・家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	<b>70.9%</b> (70.7%)	<b>55.6%</b> (55.0%)
・学校の授業時間以外に, 普段(月～金曜日)1日1時間以上, 勉強しますか	55.1% (57.1%)	<b>69.9%</b> (65.8%)
・学校の授業時間以外に, 普段(月～金曜日)1日当たり10分以上, 読書しますか	<b>61.8%</b> (60.0%)	<b>53.6%</b> (49.4%)

・小・中学校ともに全国平均よりは高い項目が多いが、学校・家庭の連携のもと、自ら読書をしたり、計画的に学習に取り組んだりするような、主体的学習者としての資質能力をさらに高めるため、啓発を進める必要がある。

4 家庭・地域・社会とのかかわりに関する項目	小学6年生	中学3年生
・今住んでいる地域の行事に参加していますか	55.9% (57.8%)	36.1% (38.0%)
・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	73.8% (76.8%)	60.9% (63.9%)

・すべての設問で全国平均より低いため、「社会に開かれた教育課程」の具現化に向け、地域社会の課題解決を題材とした学習や、地域での体験活動に取り組み、学校・家庭・地域の連携を推進していく必要がある。

5 学習に対する意欲、理解等に関する項目	小学6年生	中学3年生
・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会(活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	82.7% (77.2%)	82.9% (77.9%)
・学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	83.3% (81.8%)	80.7% (79.7%)
・5年生まで(1,2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	80.2% (78.8%)	80.4% (79.2%)
・5年生まで(1,2年生のとき)に、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	67.4% (63.7%)	70.4% (62.1%)
・5年生まで(1,2年生のとき)に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	74.9% (74.4%)	70.3% (69.1%)
・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	75.7% (77.4%)	72.1% (69.2%)
・授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか	82.0% (81.9%)	72.3% (69.9%)
・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	84.4% (83.6%)	86.4% (86.3%)
・国語の勉強は好きですか	57.3% (61.5%)	59.8% (61.4%)
・国語の勉強は大切だと思いますか	94.5% (94.2%)	91.8% (92.4%)
・国語の授業の内容はよくわかりますか	85.2% (85.7%)	78.4% (80.0%)
・算数(数学)の勉強は好きですか	58.5% (61.4%)	57.2% (56.7%)
・算数(数学)の勉強は大切だと思いますか	93.8% (94.2%)	83.2% (85.0%)
・算数(数学)の授業の内容はよくわかりますか	80.6% (81.2%)	71.6% (73.3%)
・英語の勉強は好きですか	70.4% (69.3%)	53.0% (51.9%)
・英語の勉強は大切だと思いますか	92.0% (91.3%)	89.0% (88.0%)
・英語の授業の内容はよくわかりますか		65.0% (63.9%)

- ・学級会をはじめ、話し合い活動に関する項目は小・中学校ともに全国平均より高く、8割を超えているため、話し合い活動を充実させていることがわかる。
- 「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表」や「自分の考えをまとめる活動」の設問の割合が全国平均より高く、自分の考えを表現することに関して力を入れていることがわかる。
- ・どの教科においても「大切だと思う」設問での高い割合に比べ、「好き」設問では割合が低い傾向が見られるため、各教科の学習を「好き」になるよう「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を今後も進める必要がある。

6 調査問題に関する項目	小学6年生	中学3年生
・国語の問題で、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか(「すべての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合)	81.0% (80.7%)	79.4% (74.3%)
・国語 解答時間は十分でしたか	61.2% (64.1%)	78.6% (75.3%)
・算数(数学)の問題で、解答を言葉や数、式を使って、わけや求め方を書く(説明する)問題がありました。どのように解答しましたか(「すべての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」の割合)	81.4% (80.3%)	60.8% (57.1%)
・算数(数学) 解答時間は十分でしたか	83.5% (84.5%)	73.9% (75.0%)
・英語の問題で、まとまりのある文章を書く問題がありました。どのように解答しましたか(「書く内容もその内容を表現する英語も思い浮かんだ」の割合)		83.6% (83.7%)
・英語 解答時間は十分でしたか		92.9% (93.2%)

- ・「十分な解答時間」の設問は教科によってバラつきが見られるが、国語、算数・数学においては、粘り強く書こうとしている生徒が多い。「記述式」の問題が例年課題となっている中で、最後まで書こうと努力した割合が全国平均より高いことは各学校における指導の成果である。

7 ICT 活用に関する項目	小学6年生	中学3年生
・学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	95.8% (95.1%)	91.2% (93.3%)
・5年生まで(1,2年生のとき)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか(週1回以上)	88.3% (86.3%)	80.1% (87.5%)
・学校の授業時間以外に、普段(月曜日～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除き、1時間以上)	18.7% (17.9%)	13.9% (13.4%)

- ・ICT機器を勉強のために扱う意識が小・中学校ともに高く、授業等で活動が高まっている成果である。
- ・ICT機器を授業内で週1回以上使用することは、中学校においては全国平均よりも低いため、ICT機器の効果的な活用について、研修を重ねていく必要がある。
- ・授業者によるICT機器の活用はもちろんであるが、学習者においても、プリントやノート等と同様に、文房具の1つとしてICT機器を使いこなせるよう指導を継続していくことが必要である。